

第3章 環境像の実現に向けた環境施策

基本方針Ⅰ「**天**を知り森林・農地等の土台づくり」

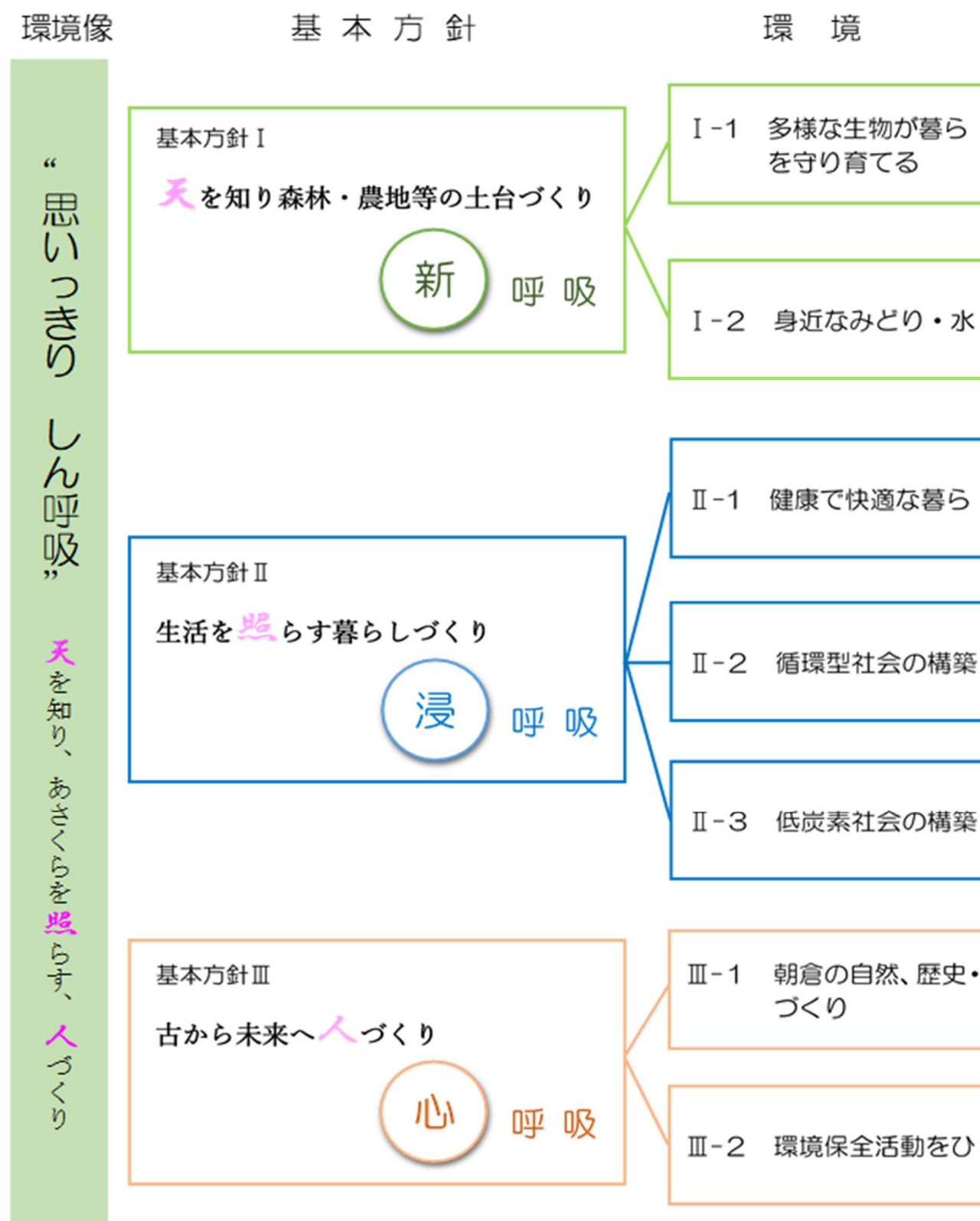
基本方針Ⅱ「生活を**照**らす暮らしづくり」

基本方針Ⅲ「古から未来へ**人**づくり」



■甘木公園のサクラ(市の花)

《取り組みの体系》



目 標

取 り 組 み の 柱

す豊かな森林・農地	ア. きれいな水・空気をつくる森林・農地等の保全・育成 イ. 動植物の生息・生育環境の保全
を守り育てる	ア. まちなかの緑化推進 イ. 身近な水域や地下水等の水環境維持
しの基盤づくり	ア. 安全・安心な食の地産地消 イ. 気候変動への適応 ウ. 大気・水質等の生活環境の保全
	ア. 4R の推進・廃棄物の適正処理
	ア. 資源・エネルギーの有効利用
文化を守り伝える人	ア. 学校・地域における環境教育・学習の推進 イ. 朝倉の自然がはぐくんだ歴史・文化の保全と継承
ろげる	ア. 環境保全活動の充実

基本方針Ⅰ「天を知り森林・農地等の土台づくり」

環境目標Ⅰ-1 多様な生物が暮らす豊かな森林・農地を守り育てる

ア. きれいな水・空気をつくる森林・農地等の保全・育成

【テーマ：森林・農地の管理による土台づくり】

◆朝倉市の現状

- 朝倉市の土地利用割合は、森林が約 55%、耕地が約 20%、宅地が約 7%となっています。朝倉市は森林や農地の占める割合が高いことから、都市圏に比べて二酸化炭素の吸収量が多く、また、水源かん養※22、生物多様性※23 の確保等の役割が期待されています。
- 森林のほとんどがスギ・ヒノキ等の人工林ですが、照葉樹林を中心とした雑木林の自然林もあります。
- 山麓地には、梨や柿等を中心とする果樹園が広がっています。また、平野部では水田が多く、米・麦・大豆が大規模に作付けられており、福岡県内でも有数の農業地帯となっています。
- 「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する計画」を策定し、農業の多面的機能の維持・発揮を図るために市が行う事業の方向性を示すとともに、「朝倉市水田収益力強化ビジョン」を策定し、水田活用の取り組みを示しています。
- 九州北部豪雨は、森林の表層崩壊※24 及び深層崩壊※25 を引き起こし、農地や生活区域に流木や土砂が流れ込む等、甚大な被害をもたらしました。



■里山の風景



■自然災害によって崩れた森林

◆朝倉市が抱える問題と原因

森林・農地の荒廃、農村集落の維持困難

- 農林業従事者の減少、高齢化、後継者不足
- 気候変動の影響を受けた豪雨等による森林崩壊等の可能性
- 農村における過疎化・高齢化による集落機能の低下、集落の維持困難
- 竹林の増加

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 地域農林業を支える担い手を育成・確保します。
- 農地や森林が有する多面的機能を維持、向上します。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 行政や民間団体が主催する植林活動や学習会等、森林や農地の保全活動に参加します。
- 森林や農地の管理に際しては、環境に配慮し、農薬や化学肥料を過剰に使用しないよう努めます。
- 山の管理者は、山の地形等を知り、自然災害に強い植林をし、間伐・伐採を行います。
- 森林や農地の有する多面的機能を認識し、それらの保全に努めます。

【民間団体】

- 森林や農地の価値を周知するための学習会や見学会を企画・実施します。
- 水源かん養林の保全・育成運動を企画・実践します。

【事業者】

- 開発事業の実施に際しては、森林や農地の保全に努めます。
- 森林や農地の持つ多様な機能を認識し、適切な維持管理に努めます。
- 農業者や山林業者は竹の繁殖により森林や農地が荒廃しないように努めます。

【行政】

- 「朝倉市森林整備計画」に基づき、森林整備を推進し、二酸化炭素吸収源の育成に努めます。
- 水源地域における森林の水源かん養機能、保水機能の向上を図ります。
- 森林を守る担い手の育成に努めます。
- 森林のもつ多面的機能を発揮できるように保全整備を強化します。
- 林道の整備等、林業の生産基盤整備を積極的に行い、経営の改善を支援します。
- 針葉樹林に広葉樹を植林し針広混交林とすることで、生物多様性や多面的機能の向上を図ります。
- 間伐材の利用を促進するとともに、長伐期施業による優良材の生産を促進します。
- イベントや学校教育を通して林業・森林に対する理解を高め、地域全体で林業を支えていく体制構築に努めます。
- 行政と市民の協働による森林保全ボランティア活動を支援します。また、イベントを通じて森林保全意識の啓発を図ります。
- 荒竹林対策を進めるとともに、竹の活用を推進します。
- 農地を保全し、水のかん養機能を維持します。
- 環境資源としての意義を十分に踏まえ、農地の維持管理の適正化に努めます。
- 農業及び農村の基盤となる農地・農業用水等の資源の保全管理と向上に対する地域・農業者の活動を支援します。
- 生産基盤の整備や担い手対策等、幅広く農業の振興を図ります。
- イベントや学校教育等の機会を通して農業に対する理解と認識を高め、地域全体で農業を支えていく体制を確立します。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
農地面積	—	4,910ha (2018 年度)	4,790ha (2023 年度)	5,000ha (2029 年度)
農業の担い手数	—	395 経営体 (2018 年度)	420 経営体 (2023 年度)	430 経営体 (2029 年度)
森林の整備面積（単年度）	—	157.12ha (2018 年度)	105.29ha (2023 年度)	200ha (2029 年度)
林業の担い手育成団体 （林研）の会員人数	—	38 名 (2018 年度)	30 名 (2023 年度)	45 名 (2029 年度)

【コラム】森林の持つ多面的機能について

朝倉市は、森林が市の面積の 54.9%を占めている、みどり豊かな土地であり、森林は私たちの生活に欠かせない、様々な恵みを与えてくれる重要な存在です。

では、森林や農地が与えてくれる様々な恵みとは、具体的にどのようなものでしょうか。

森林は、大きく分けて8つの恵み（機能）をもっていると言われています。

生物多様性保全機能	➤ 様々な動植物の生息・生育の場
地球環境保全機能	➤ 二酸化炭素の吸収・固定、酸素の供給
土砂災害防止機能	➤ 表面土砂の流失や土砂崩れの防止
土壌保全機能	➤ 落葉等が土壌に養分を供給
水源かん養機能	➤ 森林土壌が雨を一時的に貯留し、流れ込む水量を平準化して洪水を緩和 ➤ 森林土壌のろ過による水質の浄化
快適環境形成機能	➤ 蒸発散作用による気候の緩和・調整 ➤ 防風・防音
保健・レクリエーション機能	➤ キャンプやハイキング等の休養・レクリエーションの場の提供
文化機能	➤ 信仰の対象
物質生産機能	➤ 食料、燃料、肥料、素材の提供



【資料：フォレストパートナーシップ・プラットフォーム（環境省）】

イ. 動植物の生息・生育環境の保全

【テーマ：森林・河川における生物多様性と生態系のバランス】

◆朝倉市の現状

- 朝倉市の動植物の生息・生育状況を知るデータは、旧甘木市、旧朝倉町、旧杷木町の市史・町史等が主に使用されていました。平成 20（2008）年度には農村環境計画を策定するため、動植物調査を実施しています。
- 朝倉市は、森林や河川が保全されており、「福岡県レッドデータブック※26 2011・2014」に見られるような、ヤマネやクマタカ、アカザ、スイゼンジノリ等の希少な動植物が数多く生息・生育しています。
- 金川地区を流れる黄金川は、全国で唯一、スイゼンジノリが生育している川であると言われており、朝倉市と黄金川を守る会等の民間団体や市民が協力して保全活動を行っています。
- 古処山は石灰岩でできており、国の特別天然記念物に指定されているツゲの原始林が広がっています。また、福岡県のレッドデータに選定されているニシキキンカメムシ（準絶滅危惧）、佐田川や小石原川の扇状地には、湧水で育つスイゼンジノリ（絶滅危惧Ⅰ類）やオキチモズク（絶滅危惧Ⅰ類）も生育しています。希少な動植物が生息・生育する環境は、全国に誇り得るものです。
- 里地里山では、シカやイノシシ、サル等の在来動物が人間の生活空間に侵入し、農産物等に被害をもたらしています。
- 外国産ペットの野生化や、外来生物が野外に定着することにより、朝倉市でもアライグマ等の外来生物が増加してきています。
- 市民アンケートによると、「生き物とのふれあい」に対する市民の満足度は約 38%と増加しています。
- 令和 5（2023）年 3 月には、人と動物の健康及び環境の健全性を次世代に継承していくため、「ワンヘルス推進宣言」※27 を表明しました。

◆朝倉市が抱える問題と原因

動植物の生息・生育環境の変化

- シカやイノシシ等による農林業への被害
- 外来生物の繁殖

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- シカ等の有害鳥獣の「駆除」や有害鳥獣から森林・農地を守る「防除」に努めます。
- 外来生物への適切な対応を周知します。
- 貴重な動植物が生息・生育する環境の保全に努めます。
- 身近にいる動植物や生態系の把握に努めます。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 身の回りの自然（動植物や気候等）の変化に気づき、季節や気候の移り変わりを感ずるように意識します。
- ボランティアとして、様々な自然保護活動に参加します。
- 飼育しているペットは責任をもって飼い、野外に放たないようにします。
- 森林・里山での不用意な残食の放置や野生生物に不用意に餌を与える等、生態系のバランスを崩すことにつながる行為は行いません。
- 外来生物を見かけた場合、適切に処理するように努めます。
- SNS等を利用し、市内で見かけた動植物について発信します。
- シカやイノシシ等が人間生活域から離れて生活できるように、住居周辺や里山の管理を行います。

【民間団体】

- 市民や行政と協力し、朝倉市の生物調査や絶滅危惧種の保護活動を行います。
- 自然観察会を企画・実施します。

【事業者】

- 広範囲・大量の農薬等の散布を控え、生態系のバランスが壊れないようにします。

【行政】

- 民間団体と協力し、動植物や生態系に関する調査を進めます。
- 指定文化財（天然記念物）の保存・管理・活用を進めます。
- 絶滅危惧種の保全に努めます。
- 外来生物の防除策を進めます。
- 県等から送られてくる特定外来生物の情報に注意し、住民からの相談に迅速に対応するように努めます。

- シカ等の有害鳥獣を駆除するためのハンターの育成を支援します。
- シカの食害から森林を守るため、柵張り等の防除策の活動を支援します。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
生き物とのふれあいに関する満足度	市民アンケート	32% (2019 年度)	38% (2024 年度)	50% (2029 年度)
有害鳥獣の駆除数	—	2,654 件 (2018 年度)	3,250 件 (2023 年度)	2,500 件 (2029 年度)

【コラム】朝倉市に生息・生育する絶滅のおそれのある希少野生生物

朝倉市の豊かな森林や、筑後川をはじめとする市内を流れる川には、様々な動植物が生息・生育しています。しかし、近年の気候変動や外来生物の繁殖等の影響を受け、朝倉市から絶滅のおそれがある生物が数多くいます。

「福岡県レッドデータブック 2011・2014」によると、104 種類の希少動物と、24 種類の希少植物が朝倉市に生息・生育しています。

これらの動植物を保護し、生物多様性を確保することで、朝倉市の豊かな自然が保たれます。

■朝倉市の代表的な希少野生生物表(表上段:和名 表中段:カテゴリー)

スイゼンジノリ	オキチモズク	ニシキキンカメムシ
絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅰ類	準絶滅危惧
		
ヤマネ	アカザ	その他朝倉市に生息・生育する希少野生生物
絶滅危惧ⅠB類	絶滅危惧Ⅱ類	・マルガタゲンゴロウ (昆虫類：絶滅危惧ⅠA類) ・クマタカ (鳥類：絶滅危惧ⅠB類) ・ニホンウナギ (魚類：絶滅危惧ⅠB類) 等
		

【コラム】外来生物の生息・生育域拡大による生態系の変化

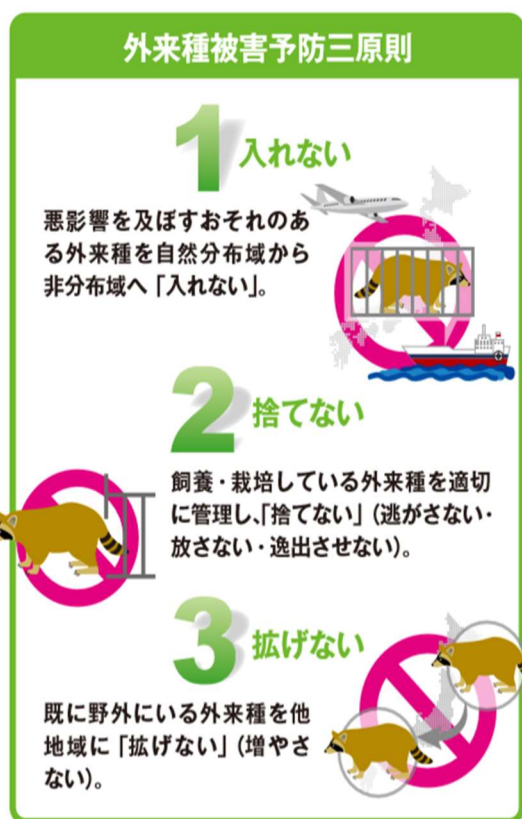
近年、朝倉市の多様な生態系の中に、今まで朝倉市に生息・生育していなかった、いわゆる「外来生物」が数多く確認されています。

外来生物とは、昔はその地域に生息していなかったのに、ペットや食用等の目的でその土地に入ってきた生き物が脱走したり、荷物や乗り物等に紛れ込んで侵入したりして、その土地に定着してしまった生き物のことです。

外来生物は、海外から日本に持ち込まれた「国外外来種」と、日本国内の他地域から持ち込まれた「国内外来種」に大別されます。

外来生物の多くは、在来生物（昔からその土地に生息・生育していた生き物）との生存競争に敗れたり、気候条件等の環境が適さないために死滅し、その土地に定着できません。しかし、一部の環境に適応できてしまった外来生物にとっては、エサが豊富で外敵の少ない場所となり、繁殖・定着し、在来生物が築いていたその土地の生態系を破壊してしまいます。

このような外来生物の脅威から朝倉市の多様な生態系を保護していくために、「入れない」、「捨てない」、「拡げない」という外来種被害予防三原則を徹底していくことが重要です。



【資料：環境省】

■朝倉市に定着していると 考えられる外来生物

【オオキンケイギク】



【オオクチバス】



【ソウシチョウ】



ア. まちなかの緑化推進

【テーマ：みどりあふれる生活空間の形成】

◆朝倉市の現状

- 朝倉市では、市制施行 10 周年に際して、市民からの意見を基に、市の花（ヒマワリ・コスモス・サクラ）と市の木（ツゲ・クス・イチョウ）を選定しました。
- 「花いっぱい運動」や「あさくら美花美化バンク」の運用により、フラワーロードの推進、グリーンカーテン等の花種の配布を行い、市街地のみどりを増やしています。
- 「朝倉市保存樹木等の指定に関する条例」を制定し、市の美観風致を維持するために必要な樹木・樹林を保存しています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

みどりとのふれあい・みどりの多さに対する市民満足度の低下

- 公共空間や空家、空き地等の草や樹木の繁茂

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 公共空間や民有地の緑化を進めるとともに、市民参加の緑化活動を通じて緑化空間の維持管理に努めます。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 庭やベランダの緑化、グリーンカーテンの設置等を行い、みどりあふれる生活の場づくりを進めるとともに、自宅やその周辺の温度上昇の緩和に努めます。
- 所有地は適切に管理し、草や樹木が繁茂しないように努めます。

【民間団体】

- 公園や街路樹、市民緑地の緑化活動や維持管理活動を進めます。
- 「あさくら美花美化バンク」の事業を市全域に広めます。

【事業者】

- 工場や事業所の敷地内の緑化を積極的に進めます。

【行政】

- 「朝倉市保存樹木等の指定に関する条例」に基づいて市の美観風致の維持に資する樹木・樹林の保存に努めます。
- 市民の憩いの場となる公園・緑地の適切な管理を進めます。
- 地区の憩いの場となる緑化空間づくりのための支援を進めます。
- 「花いっぱい運動」を継続します。
- 自然を活かした公園の整備とともに親水空間の整備を図り、魚や水鳥等が生息できる環境づくりに努めます。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
あさくら美花美化バンク利用団体数	—	3 団体 (2018 年度)	3 団体 (2023 年度)	6 団体 (2029 年度)
みどりとのふれあい、みどりの多さに関する満足度	市民 アンケート	69% (2019 年度)	72% (2024 年度)	80% (2029 年度)

市の木



■古処山のツゲ(原始林)



■恵蘇八幡宮のクス



■旧朝倉農業高校のイチョウ

イ. 身近な水域や地下水等の水環境維持

【テーマ：水光る環境】

◆朝倉市の現状

- 朝倉市は、九州一の大河である筑後川とその支流の水に恵まれており、農業用水をはじめ、多くの用途に利用されています。また、河川の上流域・中流域では雄大な景観が楽しめます。
- 地下水は、一般家庭の生活水や農業用水、飲料製造に利用されています。
- 小石原川や佐田川の扇状地のほか、貴重なスイゼンジノリが生育している黄金川等でも湧水が見られますが、年々水量が減少しています。
- 朝倉市は江川ダム、寺内ダム、小石原川ダムの3つのダムを有し、その水は、朝倉市、農業用水や福岡市をはじめとする都市圏の飲料水等に利用されています。
- 「疏水百選※28（農林水産省）」に選定されている堀川用水をはじめ、水車群や山田堰、朝倉の各地に点在する石積みの水路等、歴史的・文化的に貴重な水に関する遺跡があります。
- 朝倉市は、「あまぎ水の文化村の整備」や「ホタルの里、ホタル祭り等の取り組み」が評価され、「水と緑の文化をはぐくむ“水の郷百選” ※29（国土交通省）」に認定されています。
- 「あまぎ水の文化村」等、水とふれあうことができる場が整備されています。



■小学校の中を流れる小川



■寺内ダム(美奈宜湖)

◆朝倉市が抱える問題と原因

災害や河川環境の悪化による親水意識の低下

- 河川敷等へのごみの散乱
- 自然災害により河川に対する不安や恐怖心の発生

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 河川美化活動等を促進し、安全で、親しみのある水辺空間づくりを進めます。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 農薬や有害物質等を土壌や川・池等の水域に放置・投棄しません。
- 地下水が地面の下に流れていることを意識して生活します。
- 一斉清掃※30 やノーポイ運動等※31 に参加・協力します。

【事業者】

- 農薬や有害物質等を土壌や川・池等の水域に放置・投棄しません。
- 事業所周辺の水路等の清掃を行うほか、水辺の美化や維持管理に参加・協力します。
- 農薬・化学肥料を過剰に使用しないよう努めます。
- 工場や事業所の新築・改築時には、水の合理的・循環的利用を図るため、節水型機器への転換や、雨水・排水処理水の利用システムの導入に努めます。

【行政】

- 堤防や河川敷、川底の美化整備を進めます。
- 一斉清掃やノーポイ運動等、市民参加による地域美化活動を促進します。
- 自然を活かした公園の整備とともに親水空間の整備を図り、魚や水鳥等が生息できる環境づくりに努めます。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
一斉清掃・ノーポイ運動・道路愛護・河川清掃等への参加意向	市民 アンケート	67% (2019 年度)	64% (2024 年度)	70% (2029 年度)
水や水辺とのふれあいに関する満足度	市民 アンケート	45% (2019 年度)	52% (2024 年度)	60% (2029 年度)

基本方針Ⅱ「生活を^照らす暮らしづくり」

環境目標Ⅱ-1 健康で快適な暮らしの基盤づくり

ア. 安全・安心な食の地産地消

【テーマ：新鮮な水と空気ですてられた味わいのある農産物】

◆朝倉市の現状

- 「第2次朝倉市食料・農業・農村基本計画」を策定し、市民一人ひとりが健康で心豊かな暮らしを営むため、生涯にわたる「食育と地産地消の実践」を推進しています。
- 朝倉市産の野菜・果物・畜産物等を積極的に販売・活用している店舗等を「あさくら地産地消推進店」に認定しており、令和6（2024）年3月末現在、24店舗が認定されています。
- 「三連水車の里あさくら」や「ファームステーションバサロ」等では、朝倉市産の農産物や製造品が販売されています。
- 保育所（園）・学校給食においても、朝倉市産の農産物を使用した地産地消のメニューを取り入れています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

農業における厳しい経営環境

- 気候変動による生産量の低下や生産コストの増加
- 農産物貿易自由化、国内産地間の競争激化による農産物価格の低迷

食における消費者ニーズの多様化

- 食の安全・安心や地産地消等、多様な消費者ニーズへの対応

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 朝倉市の食文化の継承、地域経済の活性化、良好な自然環境の保全、輸送エネルギーの削減による地球温暖化防止等、様々な効果のある地産地消を推進します。
- 朝倉市の新鮮な水や空気をもとにした安全・安心な農産物の安定的な生産・提供を推進します。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 新鮮な空気、きれいな水で育てられた朝倉市産の農産物の購入に努めます。

【民間団体】

- 朝倉市産の農産物や製品を広く知ってもらうために、農業体験等を行い、朝倉市産の農産物や製品の周知に努めます。

【事業者】

- 朝倉市産の農産物等を積極的にPR・販売します。
- 朝倉市産の農産物を活用した食事を提供するように努めます。
- 農薬・化学肥料を過剰に使用しないよう努めます。

【行政】

- ふくおかエコ農産物認証制度への認証を推進します。
- 学校給食の納入業者や生産グループに依頼し、朝倉市産の農産物の学校給食での利用率向上をめざします。
- 減農薬の農産物や地域の条件に適した農産物の生産と提供を支援し、安心・安全な食の提供に努めます。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
ふくおかエコ農産物認証制度の認定件数	—	54 件 (2020 年度)	40 件 (2023 年度)	40 件 (2029 年度)
地元農産物等の学校利用率	第3次朝倉市総合計画	28.2% (2018 年度)	35.1% (2023 年度)	40.0% (2029 年度)

イ. 気候変動への適応

【テーマ：地球規模的視点から郷土の環境を考える】

◆朝倉市の現状

- 九州北部豪雨をはじめとする記録的な集中豪雨の発生は、地球温暖化に伴う気候変動も一因と考えられており、今後も台風の強大化や集中豪雨の増加が懸念されています。また、気温 30℃を越える日が続き、35℃以上の猛暑日を記録する日数も増加傾向にあります。
- 市民アンケートにおいて、環境問題の重要度の中で約23.6%の市民が「地球温暖化」と回答しました。
- 「朝倉市地域防災計画」を策定し、災害予防から復旧・復興までの段階ごとの計画を立てています。
- 地区ごとに「自主防災マップ」※32を作成し、市内の全世帯に配布しています。
- 大雨等によるため池の決壊を防ぐため、破損したため池や老朽化しているため池の改修や補強を行っています。
- 気候変動の影響として、農産物の生育不良、熱中症等の健康被害、動植物の生息・生育域の変化等もあげられます。
- 令和6（2024）年4月から、熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）の運用が始まりました。
- 朝倉市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）において、朝倉市気候変動適応計画の策定を行いました。

◆朝倉市が抱える問題と原因

気候変動の影響

- 自然災害の被害の増加や農作物不良等の拡大
- 気温が高いことによる、熱中症患者の増加

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 国や地方公共団体で行われている適応策及び朝倉市において顕在化している気候変動の影響についての情報収集・提供を行います。
- 収集した情報をもとに、防災、農林業、保健等を所管する関係機関と連携し、朝倉市の実状に見合った適応策を推進します。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 自然災害に備え、「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、非常持出品の準備や自主防災マップの確認等の防災対策に努めます。
- 集中豪雨等の非常事態時には自らの判断で避難行動をとる等、家族で早めの対応をします。
- 自然災害時に有害ごみが散乱しないように意識して管理します。
- 水害時の災害ごみの発生を抑制するため、日頃から不用品の整理を行い、倉庫等に溜め込まないように努めます。
- 地球規模的な環境問題を把握し、家庭・地域での堅実な取り組みを行います。
- グリーンカーテンの作成、クールビズ・ウォームビズの実施等、温暖化に適応したライフスタイルへの転換に努めます。
- 感染症や熱中症等、気候変動の影響により増加すると考えられる健康リスクを理解し、予防に努めます。

【民間団体】

- 行政や事業者と協力し、適応策を広めるためのイベント等を開催します。
- 自然災害時に有害ごみが散乱しないように意識して管理します。

【事業者】

- 自然災害に備え、非常持出品の準備や避難経路、洪水ハザードマップ※33の確認等の防災対策に努めます。
- クールビズ・ウォームビズの実施、サマータイムの導入等、温暖化に適応したビジネススタイルへの転換に努めます。
- 感染症や熱中症等、気候変動の影響により増加すると考えられる健康リスクを理解し、社員に啓発します。
- 農作物の高温耐性品種の検討や作付け時期の調整に努めます。
- 自然災害時に有害ごみが散乱しないよう意識して管理します。
- 水害時の災害ごみの発生を抑制するため、日頃から不用品の整理を行い、倉庫等に溜め込まないように努めます。

【行政】

- 「福岡県気候変動適応センター※34」と協力し、温暖化や気候変動に関する情報を市民に発信します。
- 「朝倉市地域防災計画」に基づき、防災基盤の強化に努めます。
- 自然災害発生時には、朝倉市の防災行政無線やメール等で避難情報を発信します。

- 森林や農地の保全、適正な管理により、水源かん養機能の維持・向上を図り、洪水や土砂災害の発生防止、軽減に努めます。
- 感染症や熱中症等、気候変動の影響により増加すると考えられる健康リスクに関する情報を発信、啓発します。
- 福岡県が開発している耐暑性品種や栽培技術の改良に関する情報を発信し、地球温暖化による農産物の生産量減少・品質低下対策に努めます。
- 熱中症特別警戒アラート（熱中症特別警戒情報）が環境省から発表された場合は市民へ周知を行い、指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の開放を行います。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	目標値
県や市が提供する災害情報入手方法の平均認知数	第3次朝倉市総合計画	2.95 項目 (2022 年度)	4 項目 (2029 年度)



■ 公共施設に掲示されている朝倉市洪水ハザードマップ

【コラム】温暖化“緩和策”と“適応策”について

近年、地球温暖化に対する考え方が変わりつつあります。

以前の地球温暖化対策は、二酸化炭素排出量を減らし、温暖化をなんとか食い止めようという「緩和策」が中心でした。

しかし、近年、様々な場面で地球温暖化による影響が顕在化しはじめており、緩和策を行っているだけでは対応が追いつかなくなってきました。

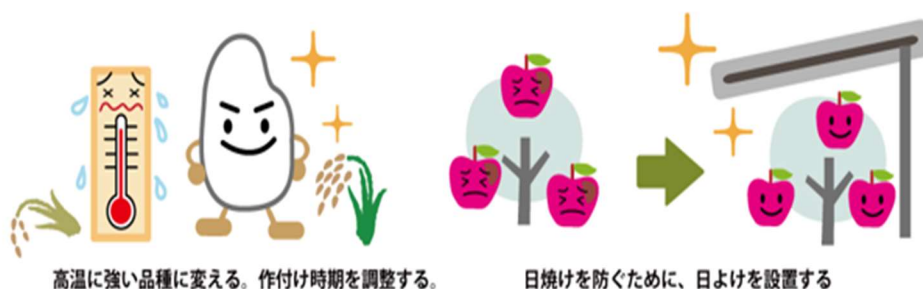
そこで、緩和策を進めていくと同時に、既に関わりつつある、または今後起こり得るであろう地球温暖化の影響に対処し、被害を回避・軽減する「適応策」を進めていくことが重要視されています。

朝倉市においても、市報等で熱中症予防策を広めているほか、自主防災マップの配布等の「適応策」を実施しています。

健康を守るための「適応」



食を守るための「適応」



【資料：気候変動適応情報プラットフォーム】

ウ. 大気・水質等の生活環境の保全

【テーマ：マナーの向上で快適な生活】

① 大気汚染防止対策・悪臭対策

◆朝倉市の現状

- 大気に関する市民アンケートによると、約 74%の市民が「空気のきれいさ」に満足しています。一方、不満の原因として、自動車の排気ガス、近隣の商店や家庭等からの煙、野焼きによる煙、家畜の糞尿の悪臭や黄砂等があげられています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

大気汚染物質の増加

- 自動車排気ガスに対する市民の不満
- 大陸由来の大気汚染物質の濃度上昇への懸念

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 公共交通機関の利用促進を図ります。
- エコドライブ※³⁵の普及促進を図ります。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 外出時は自家用車以外の交通手段を選択するとともに、運転する場合はエコドライブを心がけることで、排気ガスの排出量を減らします。
- 自動車の購入に当たっては、電気自動車等の環境にやさしい車を選択します。

【事業者】

- 運転する場合はエコドライブを心がけることで、排気ガスの排出量を減らします。
- 自動車の購入に当たっては、電気自動車等の環境にやさしい車を選択します。

【行政】

- 公用車の利用に際しては駐停車時のアイドリングストップ※36、急発進や急停車をやめる等のエコドライブを心がけます。
- 公用車への電気自動車等の低燃費かつ低排出ガス自動車の率先導入を進めます。
- 交通の流れの円滑化を行うために、交通が集中する変則的な交差点の改良に努めます。
- 関係機関と連携して、公共的な交通サービスの提供に努めます。
- 歩道、自転車道、駐輪場の整備により徒歩、自転車の利用向上に努めます。
- 関係機関と連携して、工場・事業場からのばい煙等の排出規制を徹底します。
- 工場・事業場からの悪臭の実態把握に努めます。
- 関係機関と連携して、ダイオキシン類※37等に関する環境調査の充実を図ります。
- 関係機関と連携して、アスベスト※38等の有害化学物質※39の調査結果を公表し、不安の解消に努めます。
- 事業者に対して法規制の周知徹底を図り、必要に応じて施設改善等の指導を行います。
- 野焼きに対する指導を適切に行います。
- 畜産施設整備を促進し、地域社会と共存できる畜産経営を推進します。
- 光化学オキシダント及びPM2.5については、福岡県からの注意喚起がなされた場合、防災行政無線放送において市民にお知らせします。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
近くに外出する際は、できるだけ自家用車を使用しない市民の割合	市民 アンケート	19% (2019 年度)	26% (2024 年度)	25% (2029 年度)
空気のきれいさに関する満足度	市民 アンケート	71% (2019 年度)	74% (2024 年度)	80% (2029 年度)
公共交通（鉄道・路線バス・あいのりタクシー等）の利用者数	第3次朝倉 市総合計画	1,645,757 人 (2019 年度)	1,469,773 人 (2023 年度)	1,310,000 人 (2029 年度)

② 騒音・振動防止対策

◆朝倉市の現状

- 騒音に関する市民アンケートによると、68%の市民が「まちの静けさ」に満足しています。一方、不満の原因として、自動車やバイクからの騒音、工場や工事現場などからの騒音があげられています。
- 工場からの振動に関する苦情が市に寄せられています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

事業所等からの騒音・振動

- 自動車や工場・事業場、建設現場からの騒音・振動の発生

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 自動車や工場・事業場、建設現場からの騒音・振動対策を進めます。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 自動車やバイクの空ぶかしをしない、不要なクラクションを鳴らさない等、騒音抑制に気を配ります。

【事業者】

- 騒音・振動に関する法令を遵守するとともに、建設作業を行う場合は、低騒音・低振動型の建設機械や施工方法の採用に努め、作業時間や作業方法等を周辺地域住民へ説明します。

【行政】

- 市内の主要な幹線道路の騒音実態調査を実施します。
- 環境騒音調査を適宜実施します。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
騒音・振動に関する苦情件数	—	3 件 (2018 年度)	3 件 (2023 年度)	0 件 (2029 年度)

③ 水質保全、化学物質対策

◆朝倉市の現状

- 寺内ダムの水質測定結果によると、令和 2（2020）年度から令和 5（2023）年度までのCOD※40 値は基準値（3mg/L）を下回っています。
- 水質保全に関する市民アンケートによると、約 50%の市民が「川や池のきれいさ」に満足しています。一方、不満の原因として、投棄ごみや浮遊物が多くあげられています。
- 環境負荷の軽減に配慮した農業の生産方式を普及するため、環境保全型農業直接支払交付金事業を推進しています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

河川や水路等の水質保全

- 生活排水・事業所排水・農業排水等による水質汚濁

◆問題解決に向けたポイント

★ポイント★

- 家庭や事業所、農地からの排水による水質悪化を防止するため、必要に応じて指導します。
- 化学物質に対する情報提供を進めるとともに適正な使用・管理を促進し、化学物質による環境汚染リスクの低減に努めます。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 下水道や合併処理浄化槽※41 への接続に努めます。
- 家庭菜園や庭での農薬や化学肥料等の適正使用に努めます。
- 米のとぎ汁の有効活用や、油・洗剤の適正処理等、家庭でできる生活排水対策を実施します。
- 農薬や殺虫剤等の化学物質製品の取り扱いに注意します。
- シャンプーや食器用洗剤を購入する際は環境にやさしい製品を選択します。
- 洗顔料や歯磨き粉を購入する際は、マイクロプラスチックビーズ（62 ページ参照）が含まれていない製品を選択します。
- 地域の水路等の清掃に積極的に参加します。

【民間団体】

- 化学物質に関する環境リスクを周知するための研修会等を企画・実施します。
- 地域の水路等の清掃に積極的に参加します。

【事業者】

- 工場や事業場からの排水を適正に処理し、水質汚濁防止に努めます。
- 有機農業、生ごみの堆肥利用、農薬の適正使用等、環境保全型農業を進めます。
- 化学物質を取り扱う事業者は、化学物質の移動及び排出量を把握し、適正管理を徹底します。
- 自然災害等による化学物質の流出を防ぐため、保管場所や保管方法を検討します。
- 地域の水路等の清掃に積極的に参加します。

【行政】

- 河川水質調査を行い、水質監視を継続します。
- 公共下水道事業と合併処理浄化槽設置事業を推進し、水質保全に努めます。
- 水質汚濁防止に向けた市民・事業者意識の高揚を図るための普及・啓発を進めます。
- 関係機関と連携して、事業所排水による水質汚濁防止のために事業所への規制遵守の指導を徹底します。
- 関係機関と連携して、農業排水による水質汚濁防止のために化学肥料・農薬の適正使用を推進します。
- 畜産廃棄物や畜産排水の適正な管理を指導します。
- 地下水の汚染状況を把握するために、地下水概況調査を実施します。
- 農薬等による土壌汚染の防止についての普及・啓発に努めます。
- 堆肥の利用を推進し、環境にやさしい土づくりを推進します。
- 関係機関と連携して、事業所へ化学物質の適正な管理を行うよう指導・啓発に努めます。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
河川における水質環境基準（BOD）未達成地点数	—	2 地点 (2018 年度)	6 地点 (2023 年度)	0 地点 (2029 年度)
寺内ダムにおける水質環境基準（COD）	—	達成 (2018 年度)	達成 (2023 年度)	達成維持 (2029 年度)
污水处理人口普及率	第3次朝倉市総合計画	77.1% (2018 年度)	91.4% (2023 年度)	94.9% (2029 年度)
川・池のきれいさに関する満足度	市民アンケート	43% (2019 年度)	50% (2024 年度)	50% (2029 年度)

④ ペットマナー・野良猫対策

◆朝倉市の現状

- ペットの猫や犬の糞尿被害に関する相談があった場合は、それらを禁止するための看板を配布しています。
- 飼い主のいない猫を増やさないために、野生化した猫（野良猫）の不妊・去勢手術費用の一部を補助しています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

ペットマナーの悪化や野良猫の増加

- 散歩中の糞尿の放置やペットの放し飼い
- 野良猫への餌付け

◆問題解決に向けたポイント

★ポイント★

- 正しいペットの飼い方やマナーの啓発に努めます。
- 野良猫を増やさないために、不妊・去勢手術費用の一部を補助します。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 正しいペットの飼い方やマナーを学び、実践します。
- 動物の習性を正しく理解し、散歩中の糞は持ち帰る等、ほかの人に迷惑をかけないようにします。
- 飼っている動物は、最後まで責任をもって飼います。
- 野良猫等にむやみにエサを与えないようにします。
- 空家を適切に管理し、野良猫等が住みつかないようにします。

【行政】

- 正しいペットの飼い方やマナーの啓発に努めます。
- 野良猫等が増えないように啓発・指導します。
- 野良猫を増やさないために、不妊・去勢手術費用の一部を補助します。

ア. 4Rの推進・廃棄物の適正処理

【テーマ：廃棄物の減量化・適正処理】

◆朝倉市の現状

- 一般廃棄物処理実態調査結果によると、令和4（2022）年度における一日一人当たりのごみ排出量は福岡県平均が918g、朝倉市平均が862gとなっており県平均より少ない状況です。
- 事業所からの一般廃棄物に対しては、「朝倉市廃棄物の減量化及び適正処理等に関する条例」で廃棄物減量化計画書の提出を求め、事業系ごみの減量を推進しています。
- 市民アンケートによると、約57%の市民が「まちの清潔さ」に満足しており、前回の調査時よりも満足度が増加しています。また、不満の原因としてペットボトルや空き缶等のポイ捨てがあげられます。
- 市民アンケートによると、約90%の市民が朝倉市のごみの分別方法を徹底していると回答しました。
- 買い物時にプラスチック製レジ袋をできるだけ持ち帰らないように、マイバック運動を推進しています。また、各区の分別収集でプラスチック製容器包装の分別を実施しています。
- 悪質な不法投棄は減少傾向にありますが、自転車等の不法投棄は依然として発生しています。
- 汚泥再生処理センターで受け入れたし尿等は堆肥化し、「ミラクル朝肥」として販売することで、循環型社会の構築に貢献しています。
- 朝倉市では、リサイクルを推進するため、PTAをはじめとする各団体が行っている紙類やビン等の資源物の回収に対して補助金を交付しています。また、各区では分別収集を毎月行っています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

市民一人一人当たりのごみ排出量の増加

- 事業系ごみ排出量の増加

ポイ捨てごみや不法投棄の発生

- マナー意識の欠如

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 4R（リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル）を市民・民間団体・事業者に広く周知し、生活様式や事業活動の見直しを促進することで、循環型社会の構築を進めます。
- 4Rを進めてもなお、やむを得ず廃棄しなければならないものについては、環境汚染を発生させないように適正に処理します。
- まちの美観を損ない、自然環境の悪化につながるポイ捨てごみや不法投棄を防止するための取り組みを推進します。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 買い物には必ずマイバッグを持参する等、ごみをなるべく出さないようなライフスタイルの構築をめざします。
- 過剰包装や使い捨て製品は、できるだけ購入しないように心がけます。
- 生ごみは、水切りの徹底や堆肥化等により減量化に努めます。
- 食品ロスを減らすために、余分な注文をせず、食べ残しがないように努めます。
- 自分で修理できるものは修理し、ものをできるだけ長く、大切に使うように心がけます。
- 朝倉市の分別収集のルールを守ります。
- プラスチック製品は適正に管理し、マイクロプラスチックを発生させないように努めます。
- 洗顔料や歯磨き粉等を購入する際は、マイクロプラスチックビーズが含まれていない製品の購入選択を心がけます。
- 不法投棄等を発見したら、すぐに朝倉警察署と朝倉市へ報告します。
- 自宅周辺の美化活動を行うとともに地域の美化運動に参加します。
- 家庭菜園等で肥料を使用する際は、朝倉市の汚泥肥料「ミラクル朝肥」を有効に活用します。

- 環境にやさしい素材でできた物（バイオマス※42 を原料とした容器等）を積極的に選びます。
- ごみ等の野焼きはしません。

【民間団体】

- 地域ぐるみでごみの減量化やリサイクル運動を積極的に進めます。

【事業者】

- マイバッグの利用を消費者に呼びかけます。
- 長期間使用できる、環境に配慮した製品の生産や修理体制の整備を推進します。
- 食品廃棄物の削減に努めます。
- 発生した食品廃棄物は、バイオマス発電の燃料として活用するように努めます。
- 環境にやさしい素材でできた物（バイオマスを原料とした容器等）を積極的に選びます。
- 事業所から排出されるごみの不法な焼却はしません。

【行政】

- 物品を購入する際は、エコ商品の購入を心がけます。
- マイバッグの持参を今後も市民に啓発します。
- 事業所に対してごみの出し方やごみ減量の指導を行います。
- ごみ減量・リサイクル意識の啓発を図ります。
- 食品ロスを減らすため、「3010（サンマルイチマル）運動」※43 を啓発します。
- 市民がプラスチック・スマート※44 な生活ができるよう、情報発信に努めます。
- 廃棄物処理施設の見学受け入れ等を通じて、子どもたちがごみ処理のあり方を考える機会を提供します。
- 地区住民の協力のもと、分別収集を徹底し、ごみ減量化・再資源化を図ります。
- 古紙回収等の資源回収に加え、家電リサイクル法等に基づく排出ルールの周知・徹底に努めます。
- 食品トレイ、紙パック等の回収店舗の周知徹底に努めます。
- 朝倉警察署や北筑後保健福祉環境事務所と連携し、不法投棄の摘発と防止に努めます。
- 朝倉市環境美化推進員や市の職員による不法投棄防止パトロールを継続して行います。
- 汚泥再生処理センターで受け入れたし尿等は、引き続き全量堆肥化します。
- 野焼きに対する指導を適切に行います。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
市民一人当たりの家庭系ごみ排出量	第3次朝倉市総合計画	579g/人・日 (2018年度)	564g/人・日 (2023年度)	590g/人・日 (2029年度)
ごみのリサイクル率	第3次朝倉市総合計画	21.1% (2016年度)	19.0% (2023年度)	19.0% (2029年度)
ごみ処分量（家庭系ごみ処分量＋事業系ごみ処分量）	第3次朝倉市総合計画	16,567t (2018年度)	15,257t (2023年度)	14,148t (2029年度)

※2018年度の「ごみのリサイクル率」は、九州北部豪雨の災害廃棄物対応で通常と異なるため、災害廃棄物が出る前（2016年度）の現状値を使用。

【コラム】マイクロプラスチック問題ってなに？

近年、世界中でマイクロプラスチックによる海洋汚染が問題となっています。マイクロプラスチックとは、大きさが5mm以下の小さなプラスチック粒子のことで、「1次マイクロプラスチック」と「2次マイクロプラスチック」に大別されます。

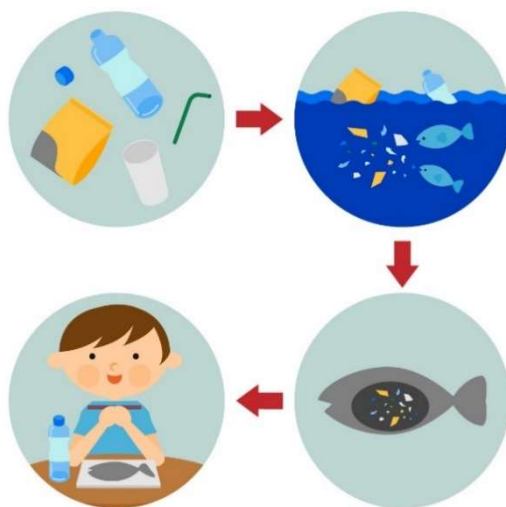
「1次マイクロプラスチック」は、マイクロプラスチックビーズとも呼ばれ、製造された時点で既に大きさが5mm以下のプラスチックのことです。洗顔料や歯磨き粉等の化粧品に含まれている場合があり、下水に流れてしまうと浄水施設を通り抜け、そのまま環境中に放流されてしまうことがあります。

「2次マイクロプラスチック」は、ビニール袋やペットボトル等のプラスチック製品が環境中に捨てられ、河川や水路を通して海に流れていくなかで、紫外線や波浪等によって分解されて徐々に小さくなっていったプラスチックのことです。

では、なぜこのマイクロプラスチックが世界中で大きな問題となっているのでしょうか。

マイクロプラスチックはPCB（ポリ塩化ビフェニル）等の有害物質を吸着しやすい性質をもっていると言われています。有害物質が吸着したマイクロプラスチックを小魚やプランクトン等の水生生物がエサと間違えて体内に取り込むことで、食物連鎖の中で有害物質が濃縮されていき、最終的には人体への影響も懸念されています。

また、近年ではマイクロプラスチックよりも更に小さい「ナノプラスチック（大きさが1μm以下のプラスチック）」が存在していることも分かっており、人体や生態系への影響に関する調査や研究が進められています。



■マイクロプラスチックが人体に入り込む一連の流れ

ア. 資源・エネルギーの有効利用

【テーマ：省エネ型のライフスタイル】

◆朝倉市の現状

- 朝倉市における二酸化炭素排出量は平成 26（2014）年度の 678.7 千 t-CO₂ をピークに減少傾向にあり、令和元（2019）年度は 444.2 千 t-CO₂ でした。これは、電気の排出係数が減少したためと考えられます。
- 朝倉市における令和元（2019）年度の二酸化炭素排出量の内訳をみると、産業部門が最も多く約 43%、次いで、運輸部門が約 26%、業務その他部門が約 20%となっています。
- 「朝倉市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」に基づき、公共施設へ再生可能エネルギーを導入し、平常時は市内からの二酸化炭素排出量の削減に貢献するとともに、災害時の非常用電源としても期待されています。
- 令和元（2019）年度に「朝倉市バイオマス産業都市構想」を策定し、再生可能エネルギーであるバイオマス発電の普及や導入拡大をめざしています。
- 令和 4（2022）年の再生可能エネルギーの発電電力量は令和 2（2020）年と比較して、1.08 倍に増加しています。
- 令和 4（2022）年 1 月に豊かな自然環境を未来に引き継ぐため、令和 32（2050）年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組むことを宣言しました。
- 令和 5（2023）年度に「朝倉市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、温室効果ガス排出量の令和 12（2030）年度に平成 25（2013）年度比で 50%以上削減を目指しています。
- 「朝倉市地域公共交通計画」を策定し、運輸部門（自動車）からの二酸化炭素排出量を削減するために重要な役割をもつ公共交通の維持・発展をめざしています。

◆朝倉市が抱える問題と原因

市内からの二酸化炭素排出

- 化石燃料に依存しており、各分野の脱炭素化が進んでいない
- 脱炭素化についての情報が浸透していない

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 身近にできることから省エネルギーの取り組みを進め、地域から地球温暖化防止に貢献します。
- 脱炭素化への情報提供を分かりやすく行います。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 毎月の電気料金をチェックし、家庭で使っている電気料金（エネルギー使用量）を意識します。
- 水道の蛇口をこまめに閉め、節水を心がけます。
- 家庭内でクールシェア、ホットシェア※45を行い、個人や少人数でのエアコンの使用を控えるように努めます。
- 外出の時には、公共交通機関がある所は公共交通機関の利用を心がけます。
- 自動車を運転する際は、エコドライブに努めます。
- 住宅を新築・改築する際は、Z E H※46など住宅の省エネルギー化に努めます。
- 家電製品等を購入する際は、省エネ性能の高い設備・機器を選びます。
- 太陽光や太陽熱等の再生可能エネルギーの導入に努めます。

【民間団体】

- 地球温暖化問題に関する講演会や研修会を企画・実施します。
- 防犯灯をL E Dに取り換えます。

【事業者】

- 国際標準化機構で策定された国際規格（I S O）やエコアクション 21※47等の環境マネジメントシステム※48の導入を進めます。
- 工場や事業所での省エネルギー対策（設備の効率的な運用や省エネ型設備への更新）を進めます。
- 太陽光や太陽熱等の再生可能エネルギーの導入に努めます。
- 大規模な再生可能エネルギーを設置する場合、環境や景観、安全、周辺住民への影響等を十分に調査します。

【行政】

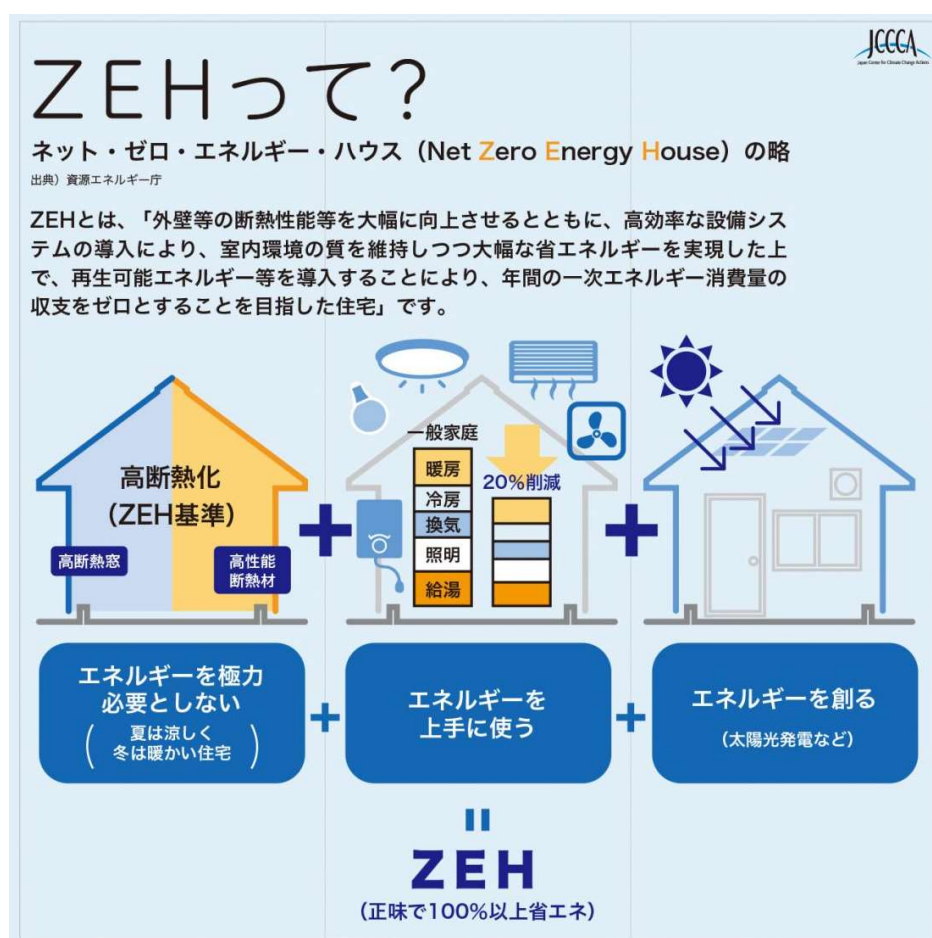
- 市民・事業者へ省エネルギー・省資源対策・脱炭素化に関する情報の啓発活動を推進します。
- 水道の普及を図り、節水に関する啓発を進めます。
- 公用車への電気自動車等の低燃費かつ低排出ガス自動車の率先導入を進めます。
- 公用車を運転する際は、エコドライブに努めます。
- 関係機関と連携して、公共的な交通サービスの提供に努めます。
- 公共交通の利用を促進するために駅等の利便性向上に努めます。
- 放置自転車・放置自動車を整理し、駐車場環境の改善に努めます。
- 事業者と協力し、パーク・アンド・ライド※49 の取り組みを推進します。
- 地球温暖化防止に向けて「COOL CHOICE※50」を推進します。
- 大規模な再生可能エネルギーを設置する場合、環境や景観、安全、周辺住民への影響等を十分に調査するよう、事業者へ呼びかけます。
- バイオマス産業都市として、バイオマスの活用を推進します。
- 再生可能エネルギーやバイオマス等への理解を深めるための周知・啓発に努めます。
- 空調等の更新の際には、高効率な機器の導入に努めます。
- 公共施設の新設や大規模改修において再生可能エネルギーの導入に努めます。
- 施設照明のLED化を進めます。
- 住宅のZEH化、事務所のZEB※51 化など情報提供を行います。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
朝倉市全体の温室効果ガス(CO ₂) 排出量	—	626.5 千 t-CO ₂ (2013 年度)	444.2 千 t-CO ₂ (2019 年度)	241.6 千 t-CO ₂ (2030 年度)
温室効果ガス排出量（市の公共施設）	第3次朝倉市総合計画	9,077t-CO ₂ (2013 年度)	7,336 t-CO ₂ (2023 年度)	4,538t-CO ₂ (2030 年度)
省エネに関する市民の実践平均項目数	—	1.38 項目 (2018 年度)	1.28 項目 (2021 年度)	3 項目 (2029 年度)
省エネに取り組んでいる事業所の数	—	47 箇所 (2018 年度)	42 箇所 (2023 年度)	50 箇所 (2029 年度)
住宅用太陽光発電設備の設置件数	—	2,314 件 (2018 年度)	3,182 件 (2023 年度)	3,500 件 (2029 年度)

【コラム】ZEHってなに？

ZEHとは、「Net Zero Energy House (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)」の略称であり、外皮の断熱性能等を大幅に向上させるとともに、高効率な設備システムの導入により、室内環境の質を維持しつつ大幅な省エネルギーを実現した上で、再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロとすることを目指した住宅のことです。



出典：温室効果ガスインベントリオフィス全国地球温暖化防止活動推進センター
ウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

基本方針Ⅲ「古から未来へ人づくり」

環境目標Ⅲ-1 朝倉の自然、歴史・文化を守り伝える人づくり

ア. 学校・地域における環境教育・学習の推進

【テーマ：憩いと満足を伴う活動的プログラム】

◆朝倉市の現状

- 小学校・中学校・高等学校を通じて理科、社会科、家庭科をはじめ各教科等で系統的・発展的に環境に関する学習を行っています。
- 総合的な学習の時間において、それぞれの地域を対象にした学習が展開されています。その中で環境に関する地域のもの・人・ことを活用して直接体験を通した学習活動を行っています。
- 各コミュニティセンター等で行われている市民向け講座等において、環境学習を実施しています。
- あさくら美花美化バンク等、市民・民間団体・事業者に向けて環境に関する展示や環境美化に対する協力の呼びかけを行い、啓発を行っています。
- 市民・民間団体・事業者・行政のメンバーで構成される環境アクション協議会が市の環境基本計画を踏まえて環境活動を企画し、市民に呼びかけ、市の特色ある取り組みを推進しています。
- 環境に対する興味・関心をもってもらうため、環境アクション協議会が年に3回かべ新聞「環境」を発行し、市内の公共施設や店舗等に掲示しています。
- 平塚川添遺跡公園で野鳥や水辺の生き物の観察会を開催しています。また、同公園に生息・生育する昆虫・植物・野鳥に関するハンドブックを作成しています。
- 市民アンケートによると、環境教育の場である環境保全活動の中では星空観察、食育教室や河川の清掃活動等に参加したいという意見がありました。

◆朝倉市が抱える問題と原因

環境教育・学習の推進体制が不十分

- 環境教育・学習の指導者不足
- 環境教育・学習の機会やプログラムの不足

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 環境教育・学習を進めるための仕組みづくりを進め、市全体として環境意識のレベルアップを図ります。
- 地域や学校等、様々な場における環境教育・学習の機会の充実を図り、市全体として環境意識のレベルアップを図ります。
- かべ新聞「環境」・広報・ホームページ等を利用し、朝倉市の環境に関する取り組みを広く発信します。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 子どもたちは、家庭や学校・地域で環境に関する活動や自由研究を行います。
- 地域で実施している分別収集への参加や、かべ新聞「環境」・インターネット・SNS等での環境情報の収集を通じて、環境に関する知識を深めます。
- 身近な自然環境・歴史・文化等を気軽に楽しむ時間として、自然観察会や史跡巡り等に積極的に参加します。
- 「あまぎ水の文化村」等の水とふれあえる場を訪れ、水の大切さや不思議さを楽しく学習します。
- ダム見学に参加し、ダムの構造やダムの持つ利水・治水機能について学習します。

【民間団体】

- 環境保全団体や自然環境調査・体験活動団体等は、行政と協力して市民向けの環境学習会や生き物観察会等を企画・実施します。
- 水辺の環境学習会やダム見学等のイベントを企画・実施します。
- 自然観察会等の企画・実施を進めます。

【事業者】

- 事業所の敷地や所有する森林・農地等を環境学習の場として公開するように努めます。
- 地域・学校・民間団体・行政等が実施する環境学習会等へ積極的に協力します。
- 従業員への環境教育を実施し、環境にやさしい企業づくりに努めます。

【行政】

- 環境基本計画の実現に向けて、企画・実践をしている環境アクション協議会を支援します。
- 学校における環境教育・学習のための教材の提供を行います。
- 「あまぎ水の文化村」の活性化を図り、学習・交流・体験等の拠点として活用します。
- 自然・農林業体験の場としての「たかき清流館」の活用を図ります。
- 民間団体・行政が協力して「平塚川添遺跡公園」の活用を促進し、自然環境・歴史環境をはじめとした環境学習の拠点の役割をもたせます。
- 地域の特色を活かした体験型・参加型の環境教育・学習の充実を図ります。
- 幼稚園児や保育園児に対して「自然を大切にする、ごみを散らかさない」等、環境保全のための意識づけを行います。
- 学校・企業等での環境改善運動や教育を推進します。併せて、地域での清掃・美化活動を支援します。
- 環境教育・学習を先導的に行える人材の育成・確保に努めます。
- かべ新聞「環境」・広報・ホームページ等を利用し、第2次朝倉市環境基本計画や朝倉市の環境に関する取り組みを広く発信します。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
かべ新聞「環境」の発行回数	—	3回/年 (2018年度)	1回/年 (2023年度)	3回/年 (2029年度)
平塚川添遺跡公園での年間体験イベント件数	—	19回 (2018年度)	23回 (2023年度)	23回 (2029年度)
たかき清流館の受け入れ団体数	—	7団体 (2018年度)	8団体 (2023年度)	20団体 (2029年度)

イ. 朝倉の自然がはぐくんだ歴史・文化の保全と継承

【テーマ：歴史・文化を知り地域への誇り・愛着を育む】

◆朝倉市の現状

- 朝倉市は、豊かな自然環境を背景に、地域に根ざした独自の文化を形成してきました。
- 弥生時代のムラやクニを偲ぶ平塚川添遺跡、斉明天皇の朝倉橘広庭宮、彦山座主の黒川院、中世の秋月氏・近世の黒田氏が築いた秋月、櫛蛾・養蚕の商業が発達した甘木町等、朝倉市の環境を活かした各時代の歴史・文化が息づいています。
- 市民アンケートでは、秋月の歴史的景観や三連水車に対し、朝倉市民として誇りと愛着を感じており、後世に残したいとの意見があがっています。
- 朝倉市には、令和6（2024）年3月末時点で93件の文化財が指定・選定されています。その中の19件が天然記念物であり、貴重な自然が残されています。
- 世界かんがい施設遺産※52に登録されている「山田堰・堀川用水・水車群」、「原鶴を中心とした筑後川鵜飼」、「スイゼンジノリの養殖」等、朝倉市の自然環境を活かした技術や伝統が息づいています。
- 杷木大山のおしろい祭り、美奈宜神社のおくんち、甘木祇園山笠、甘木バタバタ市、恵蘇八幡宮神幸祭等、朝倉市の自然と関わってきた祭りが各地域で受け継がれています。
- グリーンツーリズム※53を推進していますが、高齢化により受け入れを止める農家が増えており、受入農家の確保が課題となっています。
- 朝倉市文化財保存活用地域計画を作成し、令和6（2024）年7月に文化庁長官より認定を受けました。

◆朝倉市が抱える問題と原因

歴史的・文化的資源、伝統文化の保存と継承

- 市内の歴史や文化に関する周知・啓発が不十分
- 少子高齢化による伝統文化や伝統行事の消失危機

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- 先人が自然とともに歩んできた歴史・文化を理解し、保存するとともに次世代へと継承します。また、そのための人材育成を進めます。
- 朝倉市の歴史的・文化的資源をPRします。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 自然に育まれた歴史・文化を学び、その価値や先人の知恵を知り、守り、継承します。
- 市外の人へ朝倉市の歴史・文化をアピールできる力をつけます。
- 地域で行われている伝統行事等へ積極的に参加します。

【民間団体】

- 地域の風習や伝統文化を学習会等で掘り起こし、地域コミュニティの中で再生を図ります。

【事業者】

- 地域固有の歴史・伝統文化・文化財の保存と継承に積極的に協力します。
- 事業活動を通じて、朝倉市の歴史・文化を積極的にPRします。

【行政】

- 指定文化財の保存・管理を進め、整備・活用を図ります。
- 埋蔵文化財の保存協議を行い、必要に応じて記録保存を行います。
- 未指定の貴重な歴史資源に関する調査・研究、保存を進めます。
- 「朝倉市歴史的景観条例」に基づいて歴史的景観を保全します。
- 歴史教室や古代体験等を通して地域の歴史・文化への理解を深めます。
- 伝統芸能講座等により、伝統芸能の保存と継承を図ります。
- 伝統行事保存のための支援に努めます。
- 文化財案内人（ボランティアガイド）の育成や歴史探訪ルートの整備を進めます。
- 史跡にまつわる物語や伝説等、ストーリー性のある情報提供を強化します。
- 豊富な歴史的・文化的資源を活用し、体験型・学習型観光を推進します。
- グリーンツーリズムの普及・啓発を行います。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
歴史的雰囲気に関する満足度	市民 アンケート	32% (2019 年度)	40% (2024 年度)	45% (2029 年度)
祭り、市の伝統行事等ふるさとの行事に関する満足度	市民 アンケート	40% (2019 年度)	44% (2024 年度)	65% (2029 年度)

【コラム】「自然」と「歴史・文化」のつながり

朝倉市では、地形や豊かな自然を活かして旧石器・縄文と呼ばれる時代から人々が生活していたと言われています。先人たちは、自然を知り、自然を大切にしながら活用しており、それは現在も残されている史跡や伝統行事の数々からもうかがうことができます。

私たちは、そんな先人たちが自然とともに歩み、歴史や文化として残したものを保存・継承していくことで、朝倉という土地の良さや自然の恵み、また、自然の怖さ等を後世まで伝えていく必要があります。

朝倉市を代表する文化（祭り）



■ 杷木大山のおしろい祭り



■ 蜷城おくんち



■ 恵蘇八幡宮の粥だめし



■ 甘木バタバタ市

ア. 環境保全活動の充実

【テーマ：自治組織を通じた環境保全活動の活性化】

◆朝倉市の現状

- 各学校区のPTA活動による使用済紙、段ボール、アルミ缶、一升瓶等の資源物回収を通じてリサイクル意識が全戸に浸透しています。
- 行政による支援・指導の下、地域で実施している分別収集によって分別の意識が向上しています。
- 工夫を凝らしたかべ新聞「環境」を市内の多くの事業所等に掲示することで、朝倉市の環境の特徴や、行政・市民・事業所の環境活動を広く紹介しています。
- 環境アクション協議会では、朝倉市の環境基本計画の達成に向けて、市民・民間団体・事業者が行う環境保全活動のモデルとなるような実践方法を模索しています。
- 事業所では、国の環境施策を踏まえた環境保全に関する取り組みを進めています。
- 市民アンケートによると、環境保全活動をより活発にするために行政がすべきこととして、「環境についての情報を提供する」や「行動するための場所や機会を提供する」といった意見が多くあげられています。
- 事業者アンケートによると、環境保全の取り組みを行う上で行政がどのような施策を行うべきかという質問に対して、5割近い事業者が「情報提供」を求めています。また、求められている情報として「環境保全を行うための情報」、「行政支援に関する情報」などがあげられます。

◆朝倉市が抱える問題と原因

行政の環境に関する情報発信が不十分

- 朝倉市環境基本計画をはじめとする環境に関する計画や市内で行われる環境保全活動に関する情報の発信不足

減少傾向にある環境保全活動の担い手数

- 少子高齢化等による人口減少

◆問題解決に向けたポイント

☆ポイント☆

- より多くの市民や事業者が環境に配慮した行動を進めていくため、広報やホームページ等で環境保全活動等の情報を発信します。
- 自治組織で行われる環境保全活動が活性化するように取り組みを進めます。

◆わたしたちのアクションプログラム

【市民】

- 家族みんなで環境保全活動（一斉清掃等の地域清掃活動）に参加し、身の回りの環境の保全に努めます。
- 各区の分別収集や市民団体等が行うリサイクル活動に参加し、環境保全活動の実践力を高めます。

【民間団体】

- ホームページ等を活用して環境情報を発信します。
- 地域での環境保全活動を企画・実践します。
- 環境保全活動団体のネットワークづくりに参加し、活動に取り組みます。

【事業者】

- 環境報告書等により、環境保全に関する情報を積極的に公開します。
- 地域の環境保全活動へ積極的に参加し、支援を行います。
- 行政と協力し、国の施策等に基づいた環境保全活動を推進します。

【行政】

- 広報やホームページ等で朝倉市第2次環境基本計画や朝倉市の環境について周知します。
- 環境基本計画の進捗状況等をまとめた環境レポートを作成します。
- 各種環境行政情報や各種調査結果等の情報提供に努めます。
- 環境関連施設、環境関連イベント・活動等の情報提供に努めます。
- 市民・民間団体・事業者への環境保全活動に関する情報提供の充実を図ります。
- 環境グループの自主的な活動を支援します。
- 地域での環境保全活動を推進するため、環境アクション協議会が中心となって環境保全活動リーダーの育成を行います。
- 市民・民間団体・事業者がお互いに意見交換のできる交流の場を提供します。

◆施策の達成に向けて設定した指標と数値目標

指標	区分	基準値	現状値	目標値
広報・ホームページ等での環境情報の年間掲載数	—	12 回 (2018 年度)	25 回 (2023 年度)	30 回 (2029 年度)
環境保全活動の団体数	—	45 団体 (2018 年度)	48 団体 (2023 年度)	48 団体 (2029 年度)